

👉 **G A Pの取組**
(団体認証)

J A 福岡大城しめじ部会

構成員

| JGAP | |
|-------|--|
| ぶなしめじ | |

<基本情報>

所在地：福岡県三潴郡大木町

構成員：9事業所

<農場概要>

栽培品目：ぶなしめじ

<経営方針>

「信頼される農場づくり」



安心・安全なしめじ生産に取り組んでいます。

- ・農事組合法人 きのこの里
- ・農事組合法人 ふる里の森
- ・農事組合法人 秋香園
- ・農事組合法人 ドリームマッシュ
- ・有限会社 きのご秋萌
- ・農事組合法人 きのご工房
- ・農事組合法人 豊地の郷
- ・農事組合法人 マッシュキティ
- ・農事組合法人 モアハウス

<G A Pの取得のきっかけ>

- ・ブランディング
- ・取引先との信頼関係



J G A P 青果物2016
(2017年12月認証取得)

<GAP認証で苦勞や改善されたこと>

◆関係書類の作成(個別認証→団体認証)

G A P 認証の申請について、今まで各生産法人で必要な書類を作成し申請を行っていたため、相当時間を要していた。



◆意識の改革

無意識に行っている作業を可視化することで、自分たちの生産作業を見直すことができ、従業員に意識付けできるようになった。



<GAP認証取得による効果>

◆整理整頓の徹底

- ⇒バイヤー等の見学者受入れ
- ⇒異物混入の不安が軽減
- ⇒安全面でのP R

◆団体認証を受けたことにより

- ⇒部会内での切磋琢磨
- ⇒部会内での品質に対する意識の共有
- ⇒品質の向上



自信を持って販売できる

自信を持って
商談できました



Food EXPO Kyushu2018に出店

<問い合わせ先>

J A 福岡大城 営農経済部 直販課 0 9 4 4 - 3 2 - 1 3 4 6

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 宝珠山きのこ生産組合

JGAP
しいたけ

<基本情報>

所在地：福岡県朝倉郡東峰村
構成員：13名（役員5名+パート（通年雇用）8名）
栽培面積：しいたけ 540㎡、年間生産（出荷）数量：80t

お母さん方に働きやすい
農場を目指しています！



組合のGAP担当、川村倫子です。

【経営理念】

「人の命を支えるため、「安心・安全・美味しい」が揃ったものづくりに励みたい！」

<GAPの取得のきっかけ>

消費者にとって、安心して購入できる農場でありたいとの思いから。



JGAP青果物2016
(2018年7月認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

■ **片付け・配置**

- ・作業効率を考慮した整理整頓。
- ・安全・衛生面を考慮した配置。



■ **意識の改革**

- ・「安心して購入して頂く」という意識づくり。
- ・作業効率の重視よりも、安全・衛生面を優先させる。

■ **災害による認証取得の延期**

平成29年7月の九州北部豪雨により自宅及び施設の一部が被害を受けたことで認証取得が先延ばしとなったが、組合員一丸となって対応した。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- **整理整頓で安全性確保**
⇒使用するハサミの保管箱を作り、食品・労働安全の確保。
- **みんなの議論で改革を**
⇒「なぜ、どうしてやらなくちゃいけないの？」を「こういう風にやろう！」へ意識改革により、安全意識の向上。
- **職場環境の変化**
⇒見学者の増加により、整理整頓の習慣の徹底と作業工程の再点検。
- **取引先とのつながり**
⇒バイヤーの反応が良くなり、販路開拓への可能性が拡大。



問い合わせ先はこちら

⇒<https://kinokokumiai.or.jp/company/>

👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

肥前原木しいたけ工房 (中山 茂廣)

JGAP

しいたけ

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

<経営概要> 家族経営 + 農福連携 (就労継続支援 B 型事業所)

<農場概要> 所属農場：1 農場

栽培規模：原木30,000本(年間生産量約 2 トン)

生産商標：山鮑 (やまあわび：大型しいたけ)

<経営理念> 「持続可能な環境保全型農業を通じた社会貢献」



<G A Pの取得のきっかけ>

◆農商工連携のパートナー会社と東京オリパラへの食材提供を目指す



2017年 JGAP認証

日本能率協会による J G A P 認証

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費等)

- ・乾燥施設の改修、燃料タンクの集約と屋外設置。
- ・作業施設の整理・整頓、林業資材との区分。

◆G A P 基準に沿った作業工程の就労者への指導

- ・スタッフ(事業所職員)へ作業に当たっての手順や決め事を習熟してもらい、就労者へ徹底。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆自身の栽培・作業管理意識の向上

- ・原木栽培にこだわり栽培を続けているが、G A P 基準に沿った栽培、乾燥工程を取り入れたことにより、**自身や作業員の安全確保、安心・安全なしいたけ生産への意識の向上と商品への自信。**

<今後の目標>

◆東京オリパラへの食材採用、輸出

- ・パートナー会社と連携し、**東京オリパラへの食材提供**を目指す。食材として採用されれば、県内の同業者への波及を図り、安定した生産体制をつくり**輸出も検討。**

